

道路通信 2

発行 道路を考える会

環状通沿道の皆様、札幌市民の皆様へ、

札幌市は、いったい、どんな街づくりをめざしているのでしょうか。

環状通の整備計画を変えていただきたく、活動していますが、

実際に、札幌市の整備計画の道路と、
要望案の道路を

見ることが出来ます。それぞれに、よく似た道路があります。

札幌市の整備計画の道路は、地下鉄「北18条」駅から西（北大方向）へ行ったところです。

北18条西3・4・5・6丁目のところです。

幅員27m、歩道は、3.25m、3.25mです。

ここには、去年の説明会（平成24年5月11日、柏中学校体育館）で、説明されていた、当初、札幌市が作りたかった、歩道3.25mの道路が、実際に造られています。

（札幌市が作りたかった道路が、ここに 있습니다。これが札幌市のめざす街なのではないでしょうか。）

要望案の道路に似ている道路は、南9条の西9・10・11丁目です。

9丁目は、幅員27m、歩道は、4.60m、4.75mです。

10丁目は、幅員27m、歩道は、4.75m、4.75mです。

11丁目は、幅員27m、歩道は、5.50m、5.50mです。 全く同じでは、ありませんが、イメージは、つかめると思います。車の流れという観点で、道路の機能性はこの車線の形の方が、合理的で理にあっていていると思います。是非、一度見比べていただきたいです。

どっちの道路がいいですか。どっちの道路の沿道に暮らしたいですか。

車道の威圧感は、どう感じますか。

平成24年6月の社会資本整備審議会 道路分科会の中間とりまとめ

（インターネットの国土交通省のところから見る事が出来ます）の中に

『クルマ』主役から、歩行者、自転車などクルマ以外の利用者も含めた『多様な利用者が安全・安心して共存』できる環境の整備

と、書かれています。

また、特に都市部の道路については、

道路は、クルマだけのものではない、クルマ以外にも、歩行者、自転車、新たなモビリティなど多様な利用者が…… と、書かれています。

また、

都市部の幹線道路については、バイパス等の整備による、自動車交通量の転換や分散を行いつつ、車道空間を歩行者・自転車等へ再配分する…… と書かれています。

時代は、社会は、要望案の道路の方へ、動いています。

札幌市も、住みよく、楽しい街へと動いて下さい。お願いします。と多くの方々の声とともに、頼みに行きたいです。ご協力をお願いいたします。

地下鉄に乗り、北18条駅で降りて、

環状通を眺めて、（北18条西3・4・5・6丁目）

北大を散歩されては、どうでしょう。北大構内の、メインストリートの広い歩道を歩いてみてください、とても気持ちがいいですよ。

また、北18条西6丁目から西へ続くエルムトンネルは、環状通の当初の整備計画が、変更されて作られた部分です。環状通も計画変更されて作られている部分があるのです。

札幌市の都市計画が、変わっているところもあるのです。

北大構内は、道路により分断されずに、トンネル化され、とてもおだやかな状態で、今があります。

6月の6日～9日には、北大祭も、開催されます。環状通を見がてら、お出かけになられては、いかがでしょうか。

まだ、アンケートに答えていらっしゃらない方は、ご記入いただき、原田宅の郵便受けまで、出来ればお届けください、お願いいたします。

ご連絡をいただければ、取りにもお伺いいたします。出来れば、2 の回答でお願いします。

要望書は、道路を考える会の会員の連名で提出しようと考えています。会への参加も募集中です。

アンケート用紙は、原田宅にも、用意してあります。ご協力をお願いいたします。

以前の手紙に、個別訪問によりご説明を、と書きましたが、個別訪問はしません、ごめんなさい。

道路を考える会

Tel.

2013年5月 西己布